

保全業務(緊急修繕工事)からの課題点・留意点の提案

(財)福岡市施設整備公社

提案事項

サッシ窓開閉上の注意点

提案日

平成24年 月

サッシ窓を開ける時、クレセントを「開」状態で開けた場合には問題はありませんが、「開」にしたクレセントを「閉」に戻して建具を開けると、片方の建具の縦棧にクレセントがぶつかって縦棧を曲げているものが見受けられます。

これを防止するために、下記のことにご注意して下さい。

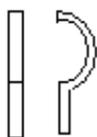
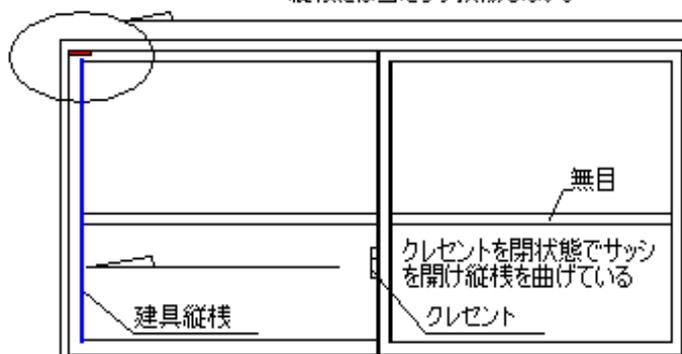
1) 使用上の注意

- ・開にしたクレセントを閉に戻して窓建具をあげないこと。

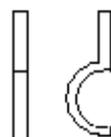
2) 設計・施工管理上の注意

- ・サッシュ枠上部にある戸当たりを窓を開けきった時のクレセント位置よりも長いものにする。

戸当たり(プラスチック)を縦棧の位置より長いものにすれば、クレセントが開状態でも縦棧には当たらず損傷しない。



(開)



(閉)

※ 次ページに写真提示

保全業務(緊急修繕工事)からの課題点・留意点の提案

(財)福岡市施設整備公社

提案事項	サッシ窓の開閉上の留意点	提案日	平成24年 月
------	--------------	-----	---------

① 引き違いサッシ窓



② クレセント閉鎖時



③クレセント(開状態)での引き戻り状況



④クレセント(閉状態)での引き戻り状況



⑤サッシ上部戸当たり



クレセント(開状態)で窓を開けた場合、相手方のサッシ縦棧には衝突しない。

クレセント(閉状態)で窓を開けた場合、相手方のサッシ縦棧を衝突で曲げている。

戸当たりをサッシ縦棧の幅より大きくすれば、クレセントによる衝突曲げ防止となる。